

再評価結果（平成27年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：茅野 牧夫

事業名 一般国道55号 <small>ふくいどうろ</small> 福井道路	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 四国地方整備局
起終点 自：徳島県阿南市内原町桜木 至：徳島県阿南市福井町小野	延長 9.6km	
事業概要 一般国道55号は、徳島市を起点に小松島市、阿南市、美波町、室戸市などを經由し、高知市に至る延長約230kmの主要幹線道路であり、四国広域幹線ネットワークを形成する基幹動脈として、地域の生活や経済、観光の振興に大きな役割を果たしている。 一般国道55号福井道路は、地域高規格道路網として整備される「阿南安芸自動車道」の一部であり、四国横断自動車道及び高知東部自動車道と一体的に機能することにより、四国8の字ネットワークを形成し、徳島県南部の広域交流の促進及び地域活性化に大きく寄与する道路である。 また、南海トラフの巨大地震などの災害発生時における緊急輸送道路の確保や、第3次医療施設までの速達性の向上、地域産業（農水産業）の活性化支援などを目的として整備を推進している。		
H24年度事業化	H22年度都市計画決定	H一年度用地着手
全体事業費	約366億円	事業進捗率
計画交通量	8,100～13,300台/日	1%
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.1 (残事業) 1.1	総費用 (残事業)/(事業全体) 270/278億円 (事業費: 255/262億円) (維持管理費: 15/15億円)
感度分析の結果	(事業全体) 交通量: B/C= 0.9～1.3 (交通量 ±10%) 事業費: B/C= 0.99～1.2 (事業費 ±10%) 事業期間: B/C= 0.97～1.2 (事業期間±20%)	(残事業) B/C= 0.95～1.3 (交通量 ±10%) B/C= 1.03～1.2 (事業費 ±10%) B/C= 1.01～1.3 (事業期間±20%)
事業の効果等 東南海・南海地震における緊急輸送道路の確保、第3次医療施設への速達性向上、地域産業（農水産業）の活性化支援など多様な効果が期待できる		
①円滑なモビリティの確保 ・現道等の時間損失の削減が見込まれる ・現道等の混雑緩和による定時制の確保など路線バスの利便性向上が見込まれる ・徳島阿波おどり空港へのアクセス向上が見込まれる		
②物流効率化の支援 ・徳島小松島港への時間短縮が見込まれる ・近畿圏や徳島中心部への地場産品の流通の利便性向上が見込まれる		
③国土・地域ネットワークの構築 ・地域高規格道路「阿南安芸自動車道」の一部を形成し、四国8の字ネットワークの形成に寄与する ・日常生活圏中心都市（阿南市）への県南市町や隣接生活圏中心都市からのアクセス向上が見込まれる		
④個性ある地域の形成 ・「広域連携推進プロジェクト」を支援（第5次阿南総合計画） ・徳島県南部地域への観光アクセス向上		
⑤安全で安心できるくらしの確保 ・三次医療施設（徳島赤十字病院）への搬送時間が短縮し、重篤患者の救命率向上が見込まれる		
⑥災害への備え ・国道55号が通行止めになった場合の代替路を形成する ・福井道路は国道55号とともに第一次緊急輸送道路に指定されている ・南海トラフ巨大地震発生時の津波浸水想定箇所を回避し、緊急輸送道路のリダンダンシーを確保する		

⑦地球環境の保全

- ・CO2排出量の削減が見込まれる

⑧生活環境の改善・保全

- ・NOX、SPM排出量の削減が見込まれる

⑨他のプロジェクトとの関係

- ・四国横断自動車道と一体的に整備することで四国8の字ネットワークを形成

関係する地方公共団体等の意見

地域から頂いた主な意見等

- ・徳島県、阿南市、阿南市高規格道路等建設促進期成同盟会等より、本事業の整備促進について要望活動が続けられている。

徳島県知事の意見：

- ・「福井道路」の事業を継続するという「対応方針（原案）」案については、異議ありません。
- 「福井道路」を含む地域高規格道路「阿南安芸自動車道」は、「四国横断自動車道（阿南～鳴門間）」とともに、「四国8の字ネットワーク」を形成し、平時は救急医療施設への搬送時間の短縮、「南海トラフ巨大地震」発生時は津波で寸断される一般国道55号の代替道路や緊急輸送道路となる「命の道」として、県民の安全・安心を支えるうえで必要不可欠な道路であります。
- また、県南部の豊かな農水産物が、都市部へ速やかに、かつ安定的に供給可能となるとともに、県南地域の美しい自然を活かした観光振興など「活力の道」として、地方の創生につながるものと考えています。

このため、引き続き、事業の着実な推進をお願いします。

事業評価監視委員会の意見

- ・「事業継続」とする事業者の判断は「妥当」である。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・平成23年4月 桑野道路 延長6.5km 事業化
- ・平成23年7月 日和佐道路 阿南市福井町小野～由岐IC 延長3.1 km 開通（全線開通）
- ・平成24年4月 福井道路 延長9.6 km 事業化
- ・平成25年11月 阿南道路 阿南市津乃峰町西分～橘町大浦 延長1.7 km 開通

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・平成24年度に事業化、用地取得率0%、事業進捗率1%（平成26年3月末時点）

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・早期の工事着手を目指し、調査・設計を進め事業を推進する。

施設の構造や工法の変更等

- ・今後も実施設計を進める中で、新技術、新工法を積極的に活用し、工事コストの一層の縮減を図るとともに、ライフサイクルコストに留意して、総コストの縮減に努めていく。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

- ・以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。